歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和８年 11 月 26 日

独立行政法人水資源機構
筑後川下流総合管理所長 北村 達也
（ 公 印 省 略 ）

１．目　的

この歩掛参考見積の募集は、福岡導水管理事業で予定している工事の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

２．参考見積書提出の資格

（１）水資源機構における令和７・８年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。

（２）営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。

（３）水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成６年５月 31 日付け 6 経契第 443 号）に基づき、筑後川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

３．参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

（１）参考見積書は、作業項目毎に必要な作業員、資機材の人数等を記載して提出して下さい。件名は、管内塗装補修工（仮称）としてください。

なお、参考見積書の様式は問いません。

（２）提出期間：令和８年 12 月３日(木) から令和８年 12 月７日(月) まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前９時から午後５時まで

（３）提出先

独立行政法人水資源機構　筑後川下流総合管理所長 北村 達也 宛

【担当】経理課

〒830-0071　福岡県久留米市安武町武島 1063-2

TEL　0942-26-4551　　FAX　0942-26-2031

E-mail： jwa_chikugo_karyu@water.go.jp

（４）提出方法

書面は持参、郵送、FAX 又はメール（いずれも社印があること）により提出するものとします。(社印は「本件責任者及び担当者」の氏名及び連絡先の明記により省略可能)

４．参考見積内容

（１）基本条件・見積項目

・見積条件は別紙-1 の内容とし、参考見積書様式は別紙-2 を参考にしてください。

・施工範囲は別紙-3 参考図を参考にして下さい。

・過年度の施工状況は別紙-4 写真帳を参考にして下さい。

（２）工事費の構成と歩掛見積徴取範囲

① 本歩掛参考見積を適用する工事費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接工事費のうち、上記作業項目、作業内容及び作業数量を実施する為に必要な作業員、機械運転の歩掛、資機材単価等とします。

（３）作業員の職種と定義

国土交通省が公表している「令和８年度公共工事設計労務単価」における「調査対象職種の定義・作業内容」によるものとします。

（４）見積有効期限

・見積有効期限は、令和９年３月 31 日までとします。

５．募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

（１）提出期間：令和８年 11 月 27 日(金) から令和８年 12 月１日(火) まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前９時から午後５時まで

（２）提出場所：３．（３）に同じ。

（３）提出方法：３．（４）に同じ。

６．質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

（１）閲覧期間：令和８年 12 月３日(木) から令和８年 12 月７日(月) まで

（２）閲覧方法：ホームページに掲載します。

７．参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とする。

８．ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

９．その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、工事の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、工事積算の目的以外には使用いたしません。

以上

参考見積条件
（管内塗装補修工（仮称））

１．工事目的

管内塗装補修工（仮称）（以下、「本工事」という。）は、福岡導水管（φ1,500mm）内面の過年度調査において確認された発錆・剥離部分の塗装補修を行うものである。

２．工事概要

１．管内面塗装補修（発錆部）　　100 箇所
２．管内面塗装補修（剥離部）　　1 箇所

補修部分の寸法は、１箇所当り 10cm～20cm 四方程度を想定しており、管延長約 190m 区間に点在しているものである。

施工範囲は、参考図のとおりとする。

３．工事場所

佐賀県三養基郡基山町園部地内

４．工事内容

4-1 工程制限

施工期間は、養生期間を含め 12 月～翌年 1 月のうち 8 日間とする。

4-2 材料

使用する塗料については、以下のとおりとする。

錆止め材：溶剤形エポキシ樹脂系プライマー
下塗り材：水道用無溶剤形エポキシ樹脂塗料
上塗り材：水道用無溶剤形エポキシ樹脂塗料

4-3 施工

(1)管内面確認清掃

1. 錆部・剥離部確認

参考図に示す施工範囲の発錆部・剥離部の現状確認を行う。

2. 錆部・剥離部簡易清掃

参考図に示す施工範囲の発錆部・剥離部の補修に支障となる汚れを取り除き、水分等を除去する。補修に支障となる堆積土砂等がある場合は、土のう袋等に入れ、管外の機構敷地に搬出するものとする。

(2) 管内面塗装補修（錆部）

1. 下地処理

素地調整は、塗膜、さび、その他付着物を除去する。その他の滑膜部について

は、表面清掃と目粗を行う。

2. プライマー処理

素地調整完了後は、金属露出部の発錆を防止する為、速やかにプライマー処理を行う。

3. 下塗り（パテ塗り）

素地調整作業時に鋼管の厚みの減少（へこみ）が著しい場合は、塗装用パテにて補修し下塗りを行う。また、塗装対象部分以外には塗料が付着しないようにマスキング養生を行った後に、塗装作業を行うものとする。

4. 上塗り

- 塗装対象部分以外には塗料が付着しないようにマスキング養生を行った後に、塗装作業を行うものとする。
- 塗装は、塗り残し、気泡及び縮み等が生じないよう十分注意して、全面を均一な厚さとなるように仕上げるものとする。
- 施工前・施工中・施工完了を各工程及び箇所毎に写真撮影するものとする。なお、全景写真は、施工前、施工完了の対比ができるように同じ箇所から撮影を行うものとする。
- 監督員による塗膜厚確認は、素地調整後及び上塗塗装完了後の塗膜厚について行うものとする。なお、上塗完了後の塗膜厚確認し記録するものとする。
- 塗膜厚は500μｍ以上とする。

(3) 管内面塗装補修（剥離部）

1. 下地処理

素地調整は、塗膜、さび、その他付着物を除去する。その他の滑膜部については、表面清掃と目粗を行う。

2. プライマー処理

素地調整完了後は、金属露出部の発錆を防止する為、速やかにプライマー処理を行う。

3. 下塗り

塗装対象部分以外には塗料が付着しないようにマスキング養生を行った後に、塗装作業を行うものとする。

4. 上塗り

- 塗装対象部分以外には塗料が付着しないようにマスキング養生を行った後に、塗装作業を行うものとする。
- 塗装は、塗り残し、気泡及び縮み等が生じないよう十分注意して、全面を均一な厚さとなるように仕上げるものとする。
- 施工前・施工中・施工完了を各工程及び箇所毎に写真撮影するものとする。なお、全景写真は、施工前、施工完了の対比ができるように同じ箇所から撮影を行うものとする。
- 監督員による塗膜厚確認は、素地調整後及び上塗塗装完了後の塗膜厚について行うものとする。なお、上塗完了後の塗膜厚確認し記録するものとする。

５．留意事項

1. 管内への出入りは各空気弁（AV44 及び AV45-A／φ800㎜）のマンホールからタラップにて昇降するものとする。なお、空気弁のうち、AV45-A は機構施設（基山分水工）内に位置しており、敷地内には車両及び資機材等の仮置きが可能である。
2. 管内に出入りする際の各空気弁のフランジ等の開閉作業及び管内の排水作業については、見積りには含まないものとする。
3. 入出孔及び換気時の補助労務（交通誘導警備員等）については見積りには含まないものとする。
4. 工事に必要となる準備（洗浄）、換気、照明、計測及び酸欠防止等の安全対策に係るすべての資機材等は見積に含むものとする。

以上

別紙－2

歩掛参考見積記載例

名称: 管内塗装補修工(仮称)

不足する項目がある場合は、追加して下さい。

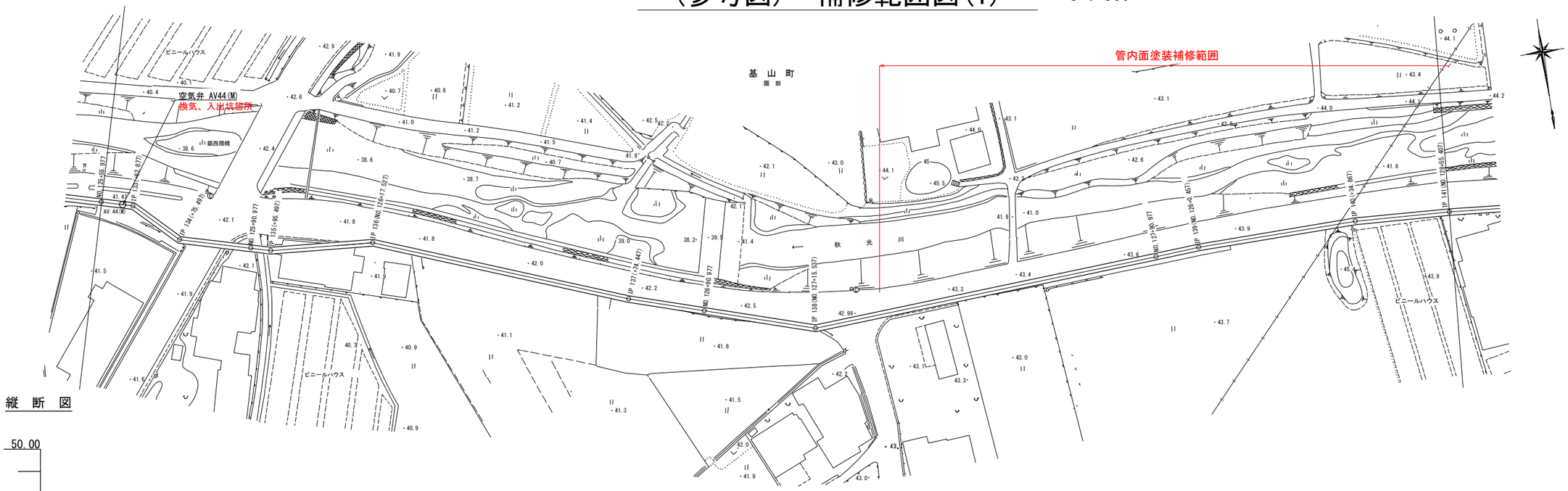
※諸雑費は、施工に必要な機械等器具費、消耗品費、雑材料費、燃料費とし、直接労務費に対する比率を計上して下さい。

項目	規格	数量	単位	日当り施工量（箇所）	直接人件費（人）					諸雑費(%)	備考
					土木一般世話役	塗装工	特殊作業員	普通作業員	軽作業員	直接人件費の	
1. 管内面確認清掃(発錆部・剥離部)		1	式		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	総施工箇所101箇所、延長約190m
2. 補修塗装工(発錆部)		1	式								
(1)下地処理		10	箇所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
(2)プライマー処理		10	箇所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
(3)下塗り	養生含む	10	箇所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
(4)上塗り	養生含む	10	箇所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
3. 補修塗装工(剥離部)		1	式								
(1)下地処理		10	箇所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
(2)プライマー処理		10	箇所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
(3)下塗り	養生含む	10	箇所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
(4)上塗り	養生含む	10	箇所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
合　計					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

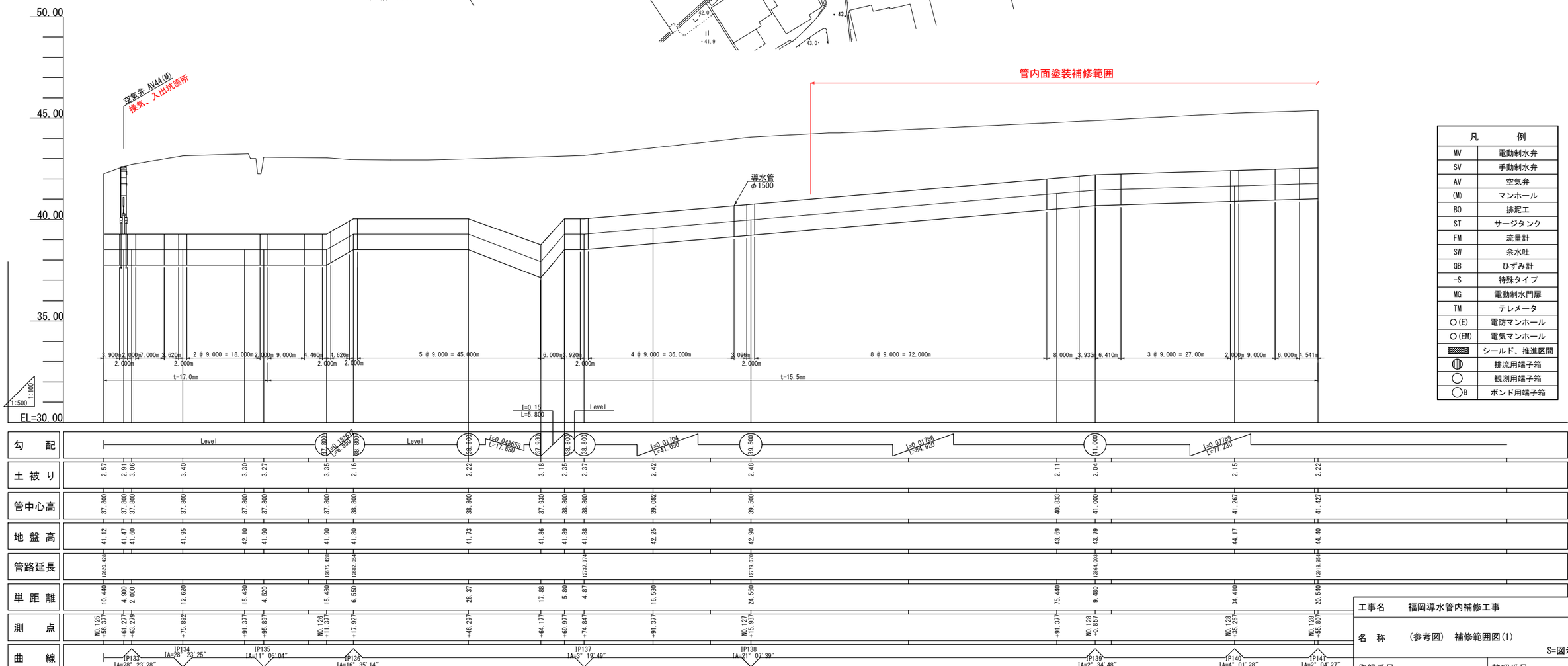
【別紙-3】

（参考図） 補修範囲図(1)

S=1:500



縦 断 図



凡	例
MV	電動制水弁
SV	手動制水弁
AV	空気弁
(M)	マンホール
BO	排泥工
ST	サージタンク
FM	流量計
SW	余水吐
GB	ひずみ計
-S	特殊タイプ
MG	電動制水門扉
TM	テレメータ
○(E)	電防マンホール
○(EM)	電気マンホール
	シールド、推進区間
	排流用端子箱
	観測用端子箱
○B	ボンド用端子箱

工事名	福岡導水管内補修工事
名 称	（参考図） 補修範囲図(1)
	S=図示
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構 筑後川下流総合管理所 福岡導水管理所	

【別紙-3】

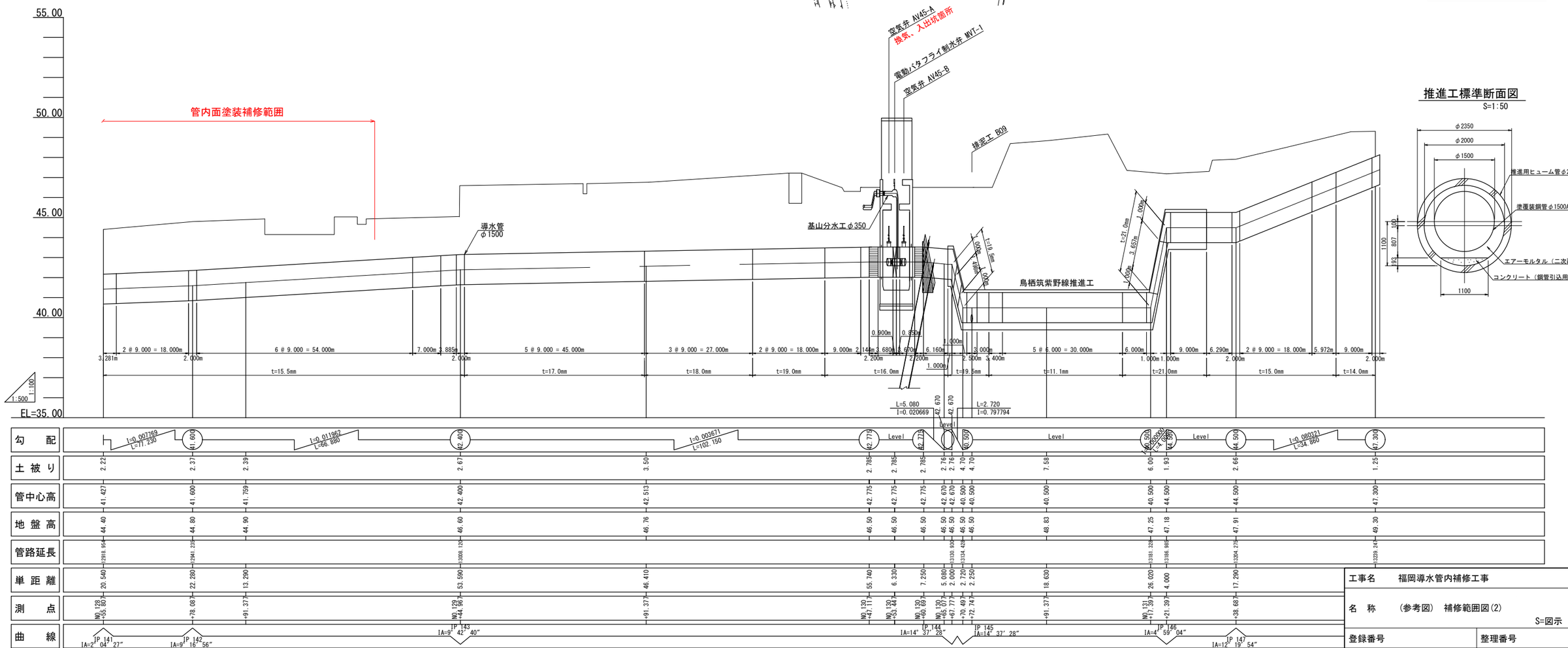
（参考図） 補修範囲図(2)

S=1:500



凡	例
MV	電動制水弁
SV	手動制水弁
AV	空気弁
(M)	マンホール
BO	排泥工
ST	サージタンク
FM	流量計
SW	余水吐
GB	ひずみ計
-S	特殊タイプ
MG	電動制水門扉
TM	テレメータ
○(E)	電防マンホール
○(EM)	電気マンホール
▨	シールド、推進区間
◍	排流用端子箱
○	観測用端子箱
○B	ボンド用端子箱

縦 断 図



推進工標準断面図

S=1:50

工事名	福岡導水管内補修工事
名 称	（参考図） 補修範囲図(2)
	S=図示
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構 筑後川下流総合管理所 福岡導水管理所	

【別紙-4】



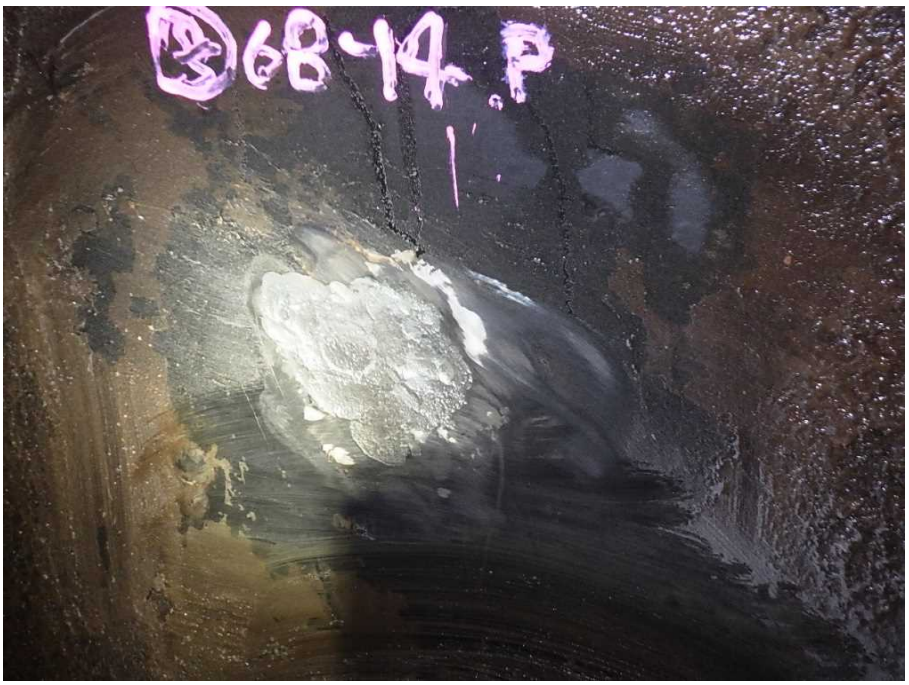
No.1

清掃前



No.2

着工前



No.3

下地処理



No.4 【別紙-4】

パテ処理



No.5

下塗り完了



No.6

上塗り完了

（FD－6000）

1回目

塗布完了



No.7

上塗り完了

（FD－6000）

3回目

塗布完了



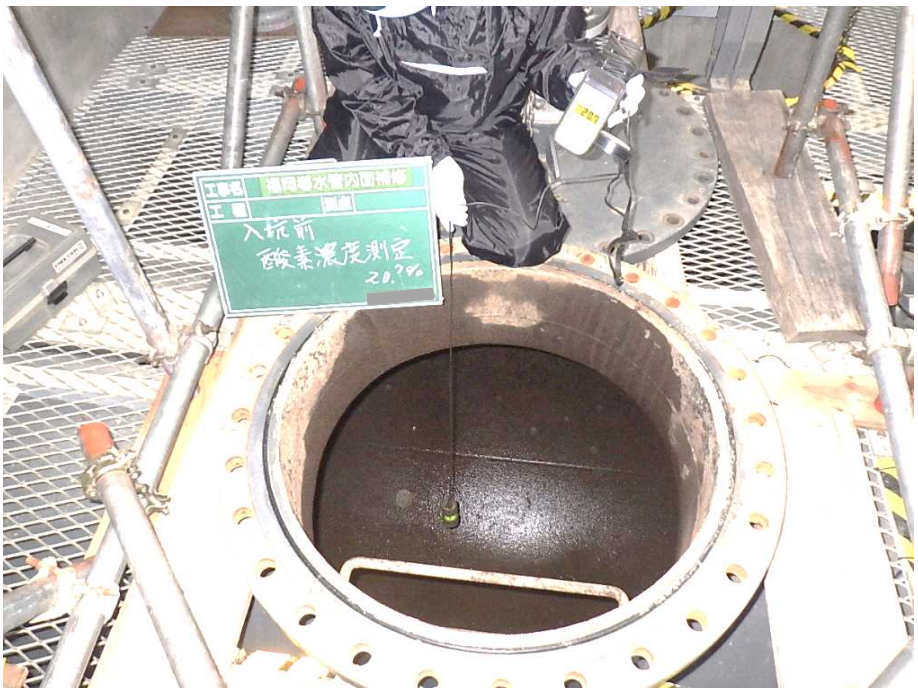
No.8

実測値

0.26m×0.32m

形状寸法

0.1m×0.1m



No.9

入坑前

酸素濃度測定

20.7%

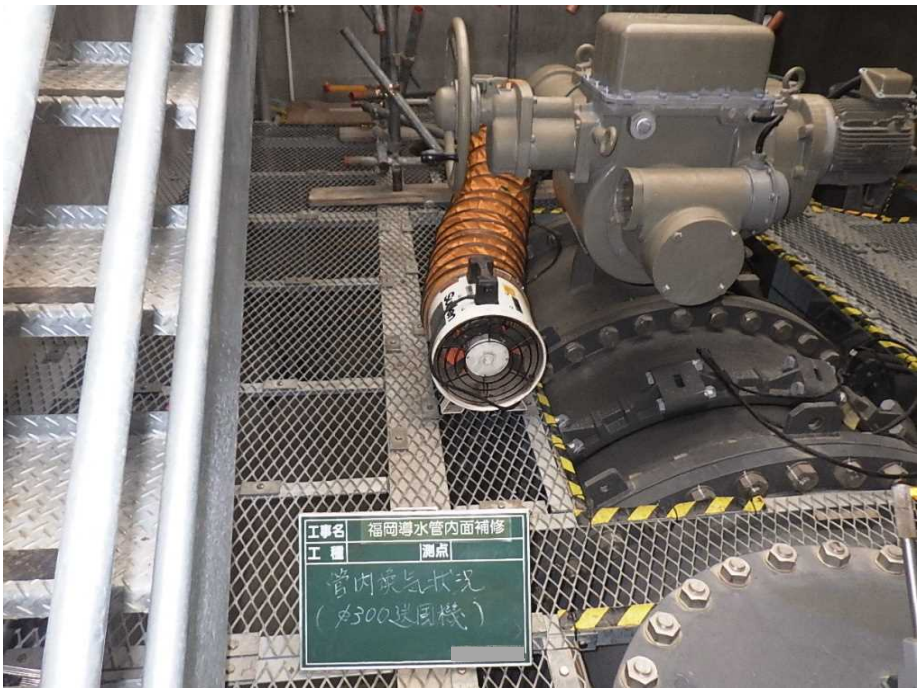


No.10 【別紙-4】

管内換気状況

φ300送風機

AV-44



No.11

管内換気状況

φ300送風機

No.12

余白